

広報

やまと

9月号
2026 No. 307



表紙 舟漕ぎ大会

02-05 特集 第35回ひらとみ祭り、ほか

06-09 シマの話題、ほか

10-11 越後先生のしま診療だより、ほか

12-16 お知らせ、大和村長のフォトダイアリー、ほか



8月29日(土)
舟漕ぎ競争

大和村の夏を締めくくる 2日間!



ふなこぎ競争競技結果 エンガの部

- 優勝 小湊舟勝負隊 (1'49"45)
- 2位 名音集落 (1'51"12)
- 3位 国直青年団 (1'51"31)

メラブの部

- 優勝 # 清水集落 (2'01"91)
- 2位 名音の娘 (2'04"90)
- 3位 朝日 Revival54 (2'11"10)

祭り1日目は、舟漕ぎ競争が開催されました。エンガの部に42チーム、メラブの部に25チームが出場し、白熱したレースを見せてくれました。選手たちは息を合わせて力いっぱい舟を漕ぎ、岸からも大きな声援が送られました。

メラブの部は、「# 清水集落」が5連覇を果たしました。強さの秘訣を尋ねると、「今大会の準優勝チームに今シーズン2回負けたこと」との答え。互いを意識し、切磋琢磨してきたことが、両チームの強さにつながっていることがうかがえました。来年はどんな熱戦が繰り広げられるのか、今から楽しみです。



開催お礼 ひらとみ祭り実行委員会 会長 藤村 侔生



今年のひらとみ祭りは、会場の混雑緩和と、より安全で円滑な祭りの運営を目指し、新たな試みとして2日間に分けて開催することとしました。

両日とも会場いっぱいに笑顔と歓声が広がり、皆さまと一緒に楽しいひとときを過ごすことができました。ご来場いただいた皆さま、暑さの中、力の限り舟を漕いでくれた選手やステージを盛り上げてくださった出演者の皆さま、そしてご協賛・ご協力いただいた企業・団体、関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

これからも、子どもから大人まで村内外の皆さまに親しまれ、「また来たい」と思ってもらえる、大和村らしい温かい祭りを、皆さまと一緒につくっていければと思います。

最後になりますが、第35回ひらとみ祭りに関わってくださったすべての皆さまに、実行委員会を代表して心より御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

8月30日(日) ステージ・花火

祭り2日目は、元気いっぱいのこども神輿でスタート。ヒーローショーやダンス、村民をはじめ地元で活動するミュージシャンによる演奏など、多彩なステージが続きました。お楽しみ抽選会では、司会者が懐かしの人気芸人に扮して登場し、会場を沸かせる一幕も。皆さんの心に残ったのは、どの場面だったでしょうか。

そして、祭りのフィナーレは恒例の花火大会。夜空に大輪の花火が打ち上がる中、山のむこうからは月がゆっくりと姿を現し、花火と月が共演するひとときに。夏の終わりを彩る、印象的な夜となりました。

主催の大和村連合青年団は、限られた人数ながら、準備から当日の運営まで力を合わせ、2日間の祭りを盛り上げました。青年団をはじめ、祭りを支えてくださった皆さん、ありがとうございました。

大和村の文化財、ふるさとへ

「奄美博物館から返還された大和村の文化財群」

返還の経緯

教育委員会 高梨修（学芸員）

奄美市立奄美博物館では、昭和62年の開館以来、奄美群島全域で調査研究活動が行われてきました。大和村には文化財を収蔵する施設がなかったため、村内に残されていた古文書やノロ祭祀具などその多くが、奄美博物館に寄贈・寄託されてきました。また、村指定文化財の「和家文書」「盛岡家資料」も、同館に寄託して保管をお願いしてきました。



返還調印式の様子（令和8年6月）

令和7年5月、大和村教育委員会は旧今里中学校を改修し、文化財の収蔵施設として整備しました。これを受けて、同年9月、伊集院幼村長は、奄美博物館に保管されている大和村関係の文化財について、大和村で保存・活用したい旨、安田壮平奄美市長に相談、返還を依頼したのです。その結果、奄美市のご理解とご英断により、今回の資料移管が実現しました。

返還された文化財の概要

- ①盛岡家文書 96点（国直）
- ②赤井家ノロ祭祀具 1点（思勝）
- ③窪山家ノロ祭祀具 7点（大棚）
- ④時家ノロ祭祀具 6点（大棚）
- ⑤富山家ノロ祭祀具 7点（戸円）

移管された村指定文化財

- ⑥盛岡家資料 166点（国直）
- ⑦和家文書・ノロ祭祀具 67点（大和浜）

今後の方針
返還された資料は、約500年前の琉球国の時代のノロ祭祀具と、約100～150年前の幕末から明治時代の古文書、家財道具などが含まれています。これらは、教科書的な日本史とは異なる歩みをたどってきた奄美群島の歴史を明らかにする重要な資料です。
特にノロ祭祀具は、これまで大和村が収集保管してきた資料とあわせると、奄美・沖縄地域でも屈指の特徴的な資料群となります。また、奄美の歴史研究で重要な史料として知られる「盛岡家文書」「和家文書」が大和村に戻ってきたことも大きな意義があります。
今後は、これらの資料について専門家の協力もいただきながら整理や調査研究を進め、その学術的価値を明らかにしていきます。あわせて、村民をはじめとして大勢の方に見ていただけるよう資料の公開活用にも取り組みます。



①盛岡家文書



⑦和家文書



⑤富山家ノロ祭祀具



④時家ノロ祭祀具



③窪山家ノロ祭祀具



⑤富山家ノロ祭祀具

大和村のノロ祭祀具

大和村の11集落には、「トネヤ」と呼ばれる祠があり、現在でも豊年祭などの際に神事が行われています。かつて、その神事を司っていたのが「ノロ」と呼ばれる神職です。ノロは琉球国王により任命された公的な神職（現代風に言い換えれば琉球国の国家公務員）で、民間の神職であるユタとは異なる役割を担っていました。

大和村のノロたちは、約500年前の琉球国の時代から、国王から授けられた神道具を丸櫃などに入れ、今日まで大切に受け継いできました。とりわけ「玉ハベラ」と呼ばれるガラス製ビーズ玉を編んだ装身具は、沖縄県側ではわずかしら確認されていない、奄美群島を特徴づける貴重な祭祀具です。破損した状態の資料が多く認められるなか、大和村には、今回返還されたものを含め、ほぼ完全な形の玉ハベラがいくつも残されています。

大和村に残るノロ祭祀具は、質量ともに特筆すべき資料群です。かつては奄美群島の全域で行われていたノロ祭祀ですが、現在ほとんど消失してしまいました。その祭祀を明らかにするうえでも、これらの祭祀具は欠かせない学術資料として位置づけられます。

村民の皆様方からの情報提供をお待ちしています。

大和村には、まだ発見されていないノロ祭祀具や古文書などが残されている可能性があります。

【連絡先】中央公民館 電話 0997-57-2311

盛岡家と和家
古文書の①と⑦は、いずれも幕末から明治時代頃に成立したものです。
盛岡家は、薩摩藩統治時代に代々島役人を務めていた国直の豪農です。和家も、琉球国統治時代から代々島役人を務めてきた大和浜の由緒ある豪農です。
盛岡家文書と和家文書には、当時の薩摩藩の奄美統治方針がまとめられたものや、砂糖生産の様子がわかるものなど、今から150年以上前の様子を知るための貴重な内容が記録されています。



平和への願いを新たに

8月15日、大和村防災センターで大和村戦没者慰霊祭（追悼式）が行われました。

式には戦没者遺族をはじめ、村議会議員や学校関係者、児童生徒らが参列し、戦争で犠牲となった本村出身の戦没者229柱をしのび、献花を行い、静かに祈りを捧げました。

戦後81年を迎え、戦没者の冥福を祈るとともに、戦争の記憶を次の世代へつなぎ恒久平和への願いを新たにすることができました。



村産マンゴー銀賞に輝く

9月29日、第11回奄美大島・喜界島マンゴー品評会（8月4日開催）において、銀賞を受賞した宮田到さん（今里）に表彰とトロフィーの伝達を行い、大和村から記念品を贈呈しました。品評会には10点出品があり宮田さんのマンゴーは糖度や外観などが高く評価され、見事銀賞に輝きました。宮田さんは、「長く農業を続けられたのも村の助成支援のおかげ。果樹の村の名に恥じないよう、さらに上を目指したい」と語られました。このたびの受賞、誠にありがとうございます。



食でつながる地域の輪

今年度も小中学校の夏休み期間に「やまとつながるごはん」を実施しました。長期休業中の児童生徒の孤食を防ぎ、地域のつながりを育む取組として、村が昼食を無償で提供しています。8月に6回実施し、計453食を提供。調理には17人のボランティアが参加しました。郷土料理ウワンフネやゴーヤチャンプルも提供し、子どもが食べやすいよう工夫しました。おいしそうに食べる姿は調理員のやりがいにもつながったようです。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



笑顔あふれる夏祭り

7月4日、特別養護老人ホーム大和の園で夏祭りが開催され、利用者の皆さんと家族が集い、にぎやかなひとときを過ごしました。

会場には地域の方々による食べ物の出店が並び、ステージでは歌謡や舞踊、幼児によるダンスなどが披露されました。中でも職員によるダンスには、ひときわ大きな拍手が送られ、会場を盛り上げました。

利用者の皆さんも一緒に踊ったり手拍子を打ったり、笑顔で夏祭りを楽しむ姿が見られました。



メダリストによる指導

8月22日、トップアスリートと地域住民をスポーツでつなぐ交流イベント「つなGO奄美大島」（一般社団法人アスリートネットワーク主催）の水泳教室が開催されました。

講師は、ロンドン・リオデジャネイロオリンピックの競泳女子200メートルバタフライで銅メダルを獲得した星奈津美さんです。

教室では、星さんから泳ぎ方のポイントや体の使い方などについて直接指導を受け、参加者にとってトップアスリートの技術や考え方に触れる貴重な機会となりました。



名指導者に学ぶ人づくり

8月21日、大和村防災センターで、学校法人近畿医療学園の学園長で日本体育大学名誉教授の清原伸彦氏を講師に迎え、教育講演会が開催されました。

清原氏は、日本体育大学水球部を率いて21年間無敗の記録を打ち立てたほか、同大学の「集団行動」を生み出した名指導者。これまでの豊富な経験やエピソードを交えながら、スポーツを通して人を育てることや、諦めず粘り強く取り組むことの大切さについて、熱のこもった言葉で語りました。



よりよい大和村に！

8月4日、大和村役場議場で子ども議会が開催され、村内の小学5・6年生が子ども議員として参加しました。

議会では、海岸の環境保全や農家を増やす取り組み、子どもや若者が参加するイベント、熱中症対策、移住・定住、ロードキル対策など、身近な生活から村の将来に関わることで幅広い質問や提案が出されました。

子ども議員たちは、自分たちで調べ、考えたことをもとに堂々と質問し、よりよい大和村にするための思いを村当局に伝えました。



第二のふるさとを清掃

7月25日、神戸市のさくら園六甲道保育園の園児や卒園生23名が大和村を訪れ、地域住民と交流しました。ヒエン浜では、子どもたちの発案で清掃活動も行いました。同園は平成29年から奄美ツアーを実施しています。代表の牧野親美さん（名音出身）は、「神戸とは違う、奄美ならではの自然や食に触れて、子どもたちは目を輝かせていた。奄美を『第二のふるさと』と感じているようだ」と話していました。村出身者をきっかけに、新たな世代へと交流の輪が広がっています。

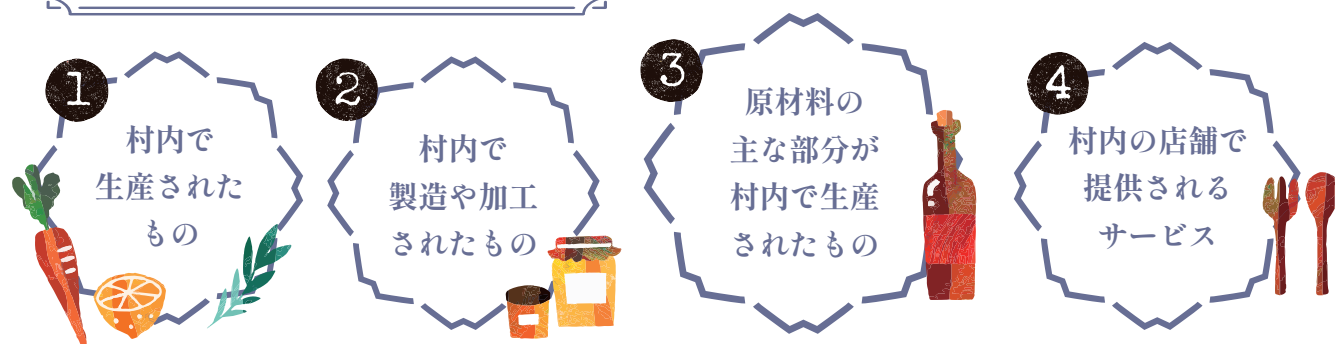
ふるさと納税とは、応援したい自治体に寄付ができる制度のこと。手続きをすると所得税や住民税の還付、控除が受けられます。寄附の使い道が指定でき、お礼の品ももらえる魅力的な仕組みです。

大募集

大和村ふるさと納税
感謝を込めた返礼品

大和村にふるさと納税（寄附）してくれた方に送る「お礼の品」を募集しています。

どんなものがお礼の品になるの？



こんなメリットがあります

登録料、掲載料、
配送料、販売手数料
0円
※村が負担します

限定品、
小規模の生産物、
季節限定、受注生産の
登録OK

ポータルサイトの
登録で
販路拡大

地域の
活性化に
つながる

登録申請の流れ



申請書など
詳細はこちら

- ①大和村へ事業者・商品登録を申請 ②村が総務省へ申請（年に3回）
③総務省の審査結果を事業者へ通知 ④中間委託業者が受発注に関する準備を実施 ④寄附の受付開始

個別の相談を随時受け付けております。お気軽にご相談ください。

大和村役場 企画観光課 ふるさと納税係 電話 0997-57-2117



アミノクロウサギ事故件数

104件

不明・その他 35件（9/1 現在）

2025年は過去最多、2026年は8月で100件超え！

毎年、奄美大島や徳之島の路上において、アミノクロウサギの死体が多く確認されています。その原因は、主に交通事故だと考えられています。

近年、アミノクロウサギは個体数や生息地が回復してきたため、より身近な存在になりつつあります。

道路は人間だけ通る訳ではありません。ウサギや他の動物のために、そして私たちの安全のためにも、夜間はゆとりのある運転をしましょう。

今年のキャッチコピー「ゆっくり走ることが、私の保護活動」

アミノクロウサギを交通事故から守る3つの運転



万一、轢いてしまっても罪に問われることはありません。ケガをしている・死んでいるアミノクロウサギを発見したら、下記までお電話ください。
こちらの二次元バーコードから通報もできます。



「アミノクロウサギ」のイラストが制作されています。現在、アミノクロウサギミュージアムくるぐるで販売中。皆さんも保護の気持ちを表現してみてください。

ロードキルから守るためには、
ゆっくりドライブするのが一番！

環境省奄美野生生物保護センター 電話 0997-55-8620

アミノクロウサギ交通事故防止キャンペーン実施中！

9/15
～
11/15

アミノクロウサギ





大和村民の元気のために
保健福祉課から元気情報を
毎号お届けします！

大和村福祉事務所って、どんなところ？

大和村福祉事務所では、生活の中で生じる様々な困りごとの相談を受けています。お話を伺いながら、相談者と一緒に困りごとの解決に取り組みます。「こんなことを相談してもいいのかな」と迷うことでも構いません。まずはお気軽にご相談ください。

…こんな困りごとはありませんか？ ……………

生活が苦しく
家賃の支払が困難になった

失業や病気で仕事が
できず生活に困っている

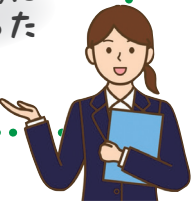
収入はあるのに
家計が苦しい

就労したいけど
安定した就労に繋がらない

子育てをしながら
日々のやりくり
に悩んでいる

ケガ等で一時的に
収入がなくなった

相談内容の秘密は厳守します。



電話や来庁が難しい方は、ご自宅へ訪問し、相談をお伺いすることも可能です。

【問合せ先】保健福祉課 電話：0997-57-2218 メール：hoken@vill.yamato.lg.jp



インフルエンザワクチンを受けましょう

文 / 医師 越後 整

今年は例年より早くインフルエンザが各地で流行しています。インフルエンザは普通の風邪とは異なり、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、強いだるさなどが現れます。高齢の方や持病のある方では、肺炎を合併して入院が必要になったり、命に関わる状態になったりすることがあります。特に高齢になると、感染をきっかけに肺炎や心臓・持病の悪化などを起こすこともあります。

ワクチンには、インフルエンザの発症を減らす効果に加えて、肺炎などの重症化を防ぐ効果があります。特に重症化しやすい高齢の方にとって、ワクチンは大切な「備え」の一つです。インフルエンザにかかってから治療するよりも、かかる前に予防することが大切です。

大和村では、インフルエンザワクチン接種費用の助成を行っています。助成があることはもちろんありがたいことですが、インフルエンザワクチ

ンを受ける一番の目的は、「費用が安いから」ではなく、「自分自身の重症化を防ぎ、元気に冬を過ごすため」です。「かかってから治す」より、「かかる前に備える」。今年も皆さんが元気に過ごせることを願っています。

インフルエンザワクチン接種費用助成

【助成対象者】

1. 65 歳以上の方
2. 令和 8 年 10 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの期間中に 65 歳になる方
3. 60 歳以上 65 歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能に障害を有する方

【本人負担額】

1,000 円

詳細は、対象者に郵送してあるお知らせをご確認ください。



秋の活動期を前にロードキル対策

先日、アマミノクロウサギの交通事故（ロードキル）対策の一環として、マテリア線の一部に道路への侵入防止ネットを設置しました。クロウサギは、道路などの開けた場所を好んで餌を食べたり、フンをしたりすることから、交通事故に遭いやすいと言われています。侵入防止ネットには一定の効果が見られますが、ネットの劣化などにより破損した穴から出入りできてしまうなど課題がありました。今回は、野生動物防除ネットを開発している民間業者の協力を得て、耐久性の高い素材でできたネットを道路脇に設置し、効果の検証を開始しました。

9 月～11 月は、アマミノクロウサギたちが最も活発になる時期です。彼らにとっても夏の暑い時期に比べて秋は涼しく活動しやすいこと、成長した子ウサギたちが親から離れて生活しだすことなど様々な理由がありますが、なんといっても一番は、秋か



アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru
の取組等を紹介していきます。

ら冬にかけてクロウサギたちの「恋のシーズン」が始まることです。

この時期の夜、調査のために山道を走行していると、2 頭のクロウサギが道路際で一緒に草を食べていたり、追いかけてっこをしたりしているところによく遭遇します。確かなことはわかりませんが、雄と雌が行動を共にしているのだろうと想像すると、微笑ましい気持ちになりますね。そんな彼らの恋の行方を見守る気持ちでこの時期は特にいきものに優しい運転を心掛けていきましょう。



近場でも楽しめる？！ 旅行に行こう 文／副会長 三田もも子

旅行とは、「見物、保養、調査などのために、自宅を離れてよその土地へ行くこと」だそうです。みなさんは旅行していますか。

先日、宇検村のある集落へ豊年祭を見にいきました。15 時半から始まり、トネヤからふりだしを行い、島唄や相撲を経て、八月踊りをして終了でした。やったことだけ聞くと大和村の豊年祭と同じように感じますが、応援相撲のテントや、土俵の飾り、公民館の中の様子など見慣れないものでした。

驚いたことは、集落への寄付に対して集落外から来た人にはタオルの他に、お米や豚折り（味付けした豚肉の折詰め）などお礼の品を渡すこと。そして、婦人の余興がないこと！笑 数時間だけの見学でしたが、いろいろ違いが見えておも

しろかったです。旅行というのは、島外や遠くに行かなくてもできると思います。最近ではなかなか豊年祭の寄付が集まらないというので、お互いに豊年祭を訪問し、寄付し合ってもいいのではないのでしょうか。また、奄美大島にはたくさんの伝統的な行事があります。ぜひ機会を作って参加してみたいはいかがでしょうか。



大和村集落まるごと体験協議会の活動レポート
は本ーゆっくりできる
ハングスアイの村をめざして





大和村でもコンビニ交付が始まっています！

全国のコンビニのマルチコピー機、大和村役場と名音郵便局の端末で、住民票謄・抄本、印鑑証明書、所得証明書、所得・課税証明書が、取得できます！

- 取得に必要なものは？
- ①電子証明書が搭載されたマイナンバーカード/マイナ保険証
または
スマホ用電子証明書が搭載されたスマホ (android、iPhone)
 - ②4桁の暗証番号
 - ③発行手数料1通につき 200円

暗証番号を忘れた場合、電子証明書の期限が切れている場合は、住民税務課で更新ができます。

※電子証明書の期限は、カード発行から5回目の誕生日までです。

家族の証明書も取得できるの？

住民票のみ同じ世帯に入っている方の証明書が取得できます。
その他の証明書については、取得できるのは本人のみです。

利用時間

コンビニ	毎日* 6:30 ~ 23:00
役場	毎日* 8:30 ~ 17:15
名音郵便局	月~金曜日* 9:00 ~ 17:00
※12月29日~1月3日は除く	

利用方法などご不明点はお気軽にお尋ねください！
【問合せ先】住民税務課 電話 0997-57-2127

無料法律相談のご案内 (奄美法律センター)

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で開催しており、大和村民も無料で相談することができます。

※時間は30分です。(事前に相談内容をまとめておくと効率的です。同じ人が続けてお申込みされることはご遠慮いただいています。)

月	日	担当弁護士名	午前	午後
11	12	佐用 理紗	—	13:00 ~ 16:30
	19	野間 修平	9:30 ~ 11:30	—
	26	安田 周平	11:00 ~ 12:00	13:00 ~ 15:30
12	10	岡本 敏徳	—	13:00 ~ 16:30
	17	佐用 理紗	9:30 ~ 11:30	—
	24	栢 晃弘	11:00 ~ 12:00	13:00 ~ 15:30

【予約】奄美市役所市民協働推進課 電話 0997-52-1111
【問合せ】大和村役場住民税務課 電話 0997-57-2127

Cafe ムンバカディ

くるぐるではカフェのみのご利用も大歓迎！

コーヒー 350円~
ベーグルサンド2種 550円~

【裁判員候補者または検察審査員候補者選ばれた皆さんへ】

それぞれの候補者は、選挙権を有する県民の中からくじで選定されます。選定された候補者の方へは、11月中旬頃に「裁判員候補者名簿への記載のお知らせ」または「検察審査員候補者名簿への記載のお知らせ」が届きます。

国民が司法に参加する2つの制度です。ぜひ、ご協力ください。

なお、分からないことがありましたら、それぞれの問合せ先へお尋ねください。

■問合せ
裁判員：鹿児島地方裁判所刑事部 裁判員係
電話 099-808-3773
検察審査員：鹿児島検察審査会事務局
電話 099-808-3719

- 保健福祉課より
- 【児童扶養手当・特別児童扶養手当について】
- (1)児童扶養手当
次の要件に当てはまる「児童」を監護している父または母、及び父母に代わってその児童を扶養している方に手当が支給されます。
- 「児童」とは18歳に達する日以後、最初の3月31日(18歳の年度末)までの方をいいます。一定の障害がある場合は20歳未満まで手当が受けられます。
- ①父母が婚姻(事実婚)を解消した児童
 - ②父(母)が死亡した児童
 - ③父(母)が障害の状態(法施行令別表第2)にある児童
 - ④父(母)の生死が明らかでない児童
 - ⑤父(母)が裁判所からのDV保護命令を受けた児童
 - ⑥父(母)が引き続き1年以上遺棄している児童
 - ⑦父(母)が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
 - ⑧母が婚姻によらないで懐胎した児童
 - ⑨その他(棄児など)
- 手当月額(令和8年4月から)
- 全部支給：4万8050円
 - 一部支給：4万8040円
 - 1万1340円(所得に応じて決定)
 - 児童が2人以上の場合1人につき全部支給：1万1350円の加算
 - 一部支給：1万1340円
 - 5680円の加算
- (2)特別児童扶養手当
20歳未満で、身体又は精神に中度以上の

障害がある児童を監護している父母、または父母に代わってその児童を養育している方に支給されます。

■手当月額

- 1級(重度障害児) 5万8450円
- 2級(中度障害児) 3万8930円

請求者及び配偶者、扶養義務者の所得が一定以上の額を超える場合や児童が児童福祉施設に入所している場合、公的年金の給付を受けることができる場合など、手当を受け取ることが出来ないことがあります。詳しくは保健福祉課までお問い合わせください。

【障害児福祉手当及び特別障害者手当について】

□目的
重度の障害児又は障害者に対して、その障害により必要となる精神的、物質的な特別の負担軽減の一助として手当を支給することにより、特別障害児及び特別障害者への福祉向上を図ることを目的としています。

□支給要件
(1)障害児福祉手当
精神又は身体に重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の方に支給されます。

(2)特別障害者手当
精神又は身体に著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある20歳以上の方に支給されます。

*福祉施設に入所している方や長期入院している方は支給の対象外となる可能性があります。

□支給月額

- (1)障害児福祉手当
令和8年4月以降 1万6560円
- (2)特別障害者手当
令和8年4月以降 3万4500円

□支払時期
原則として毎年2月、5月、8月、11月にそれぞれの前月分が支給されます。

□所得制限
受給資格者や扶養義務者の前年の所得額によっては支給が制限される場合があります。

では、支給制限される場合があります。

◆問合せ 保健福祉課
電話 0997-57-2218

■問合せ先
大和村住民税務課 住民係
電話 0997-57-2127

【特設人権相談所のご案内】

大和村には2名の人権擁護委員があり、日頃から人権や悩み事に関するご相談に応じています。相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

□特設人権相談所開催日
令和8年12月10日(木) 10時~15時

□会場 防災センター1階・入り口右側の会議室

詳しくは、大和村役場住民税務課にお問い合わせください。

■問合せ先
大和村住民税務課 住民係
電話 0997-57-2127

【じんけんフェスタ2026 in 大和村】

県民の人権への関心を高め、基本的人権への理解を深めることを目的とし「じんけんフェスタ2026 in 大和村」を開催します。テーマは、「結いのこころを未来へつなぐ人権」です。参加は無料です。

□開催日時
12月13日(日曜日)
13時半~16時15分

□開催場所
大和村体育館

◆問合せ 住民税務課
電話 0997-57-2127

●教育委員会より

【長田須磨シンポジウム開催】

第5回長田須磨シンポジウムが開催されます。参加は無料です。

□開催日時
11月28日(土曜日)
14時~16時

□第1部講演 「外国から見た奄美」
ダニエル・ワイマーク氏(奄美・琉球語の研究者・望遠鏡会社(Celestion)の技術者)

□第2部講演 「長田須磨文庫の保全と管理」
工藤邦彦氏(別府大学教授)

□第3部講演 「奄美文化継承プロジェクトと私の今までのこれから」
見目正克(長田須磨氏の甥・奈良女子大学名誉教授)

□開催場所
大和村防災センター2階

◆問合せ 教育委員会
電話 0997-57-2154

かわした いと
川下 紘さん



父 光さん
母 亜里寿さん（大棚）

保護者からのコメント

みんなにたくさん愛されてすくすく育ってね！かわいい笑顔をいつもありがとう。

えざき このか
江崎 心花さん



父 隼太さん
母 亜輝美さん（湯湾釜）

保護者からのコメント

いつもニコニコで皆を笑顔にしてくれてありがとう♡ 沢山遊んでスクスク大きくな～れ！

ふじむら がい
藤村 凱さん



父 倅生さん
母 まりなさん（大棚）

保護者からのコメント

岳くん
歌とダンスが大好き！ のびのび大きくなーれ！

凱くん
我が家のお笑い担当！ すくすく大きくなーれ！

Happy 1st Birthday



1歳おめでとう

あさひ
ルッセル 麻陽さん



父 エティエンさん
母 広海さん（名音）

保護者からのコメント

元気に丈夫に育ってたくさん遊ぼうね！

むかい りつ
向井 梨紬さん



父 惇さん
母 博美さん（大金久）

保護者からのコメント

趣味 お姉ちゃんのおっかけ
特技 小さな小さな石集め
自分でやりたい！ できた！ がたくさんふえたね♪
うまれてきてくれてありがとう♡

大和村長のフォトダイアリー

写真と共に村長の活動を
報告いたします。

今年も関東大和会総会・懇親会に出席をさせていただきました。毎年、村出身者の皆様をはじめ、東京奄美会の役員の方々と親しく懇談できることを楽しみにしております。また、日頃から郷里を思い、さまざまな形で大和村を応援をして頂いている皆様に、改めて感謝申し上げます。



今年は、東京にいられてから初めて大和会の総会に出席された方もおられ、新たなつながりが生まれていることをうれしく感じました。

さて、毎年この機会に故郷の近況をお伝えしておりますが、大和村では、奄美初の温泉施設やアマミノクロウサギの保護・研究・環境教育の拠点となる施設など、近年のさまざまな取り組みに評価をいただいております。

また、村独自に進めている施策についても、多くの皆様に情報が届いていることを実感し、これまで継続して取り組んできた成果が少しずつ表れていることを感じました。

今後も、こうした取り組みを着実に積み重ね、その成果をさらに村の発展につなげられるよう、村政を進めてまいりたいと思います。

こせきの窓

人口 1322 人（△ 40）
男 697 人（△ 10）
女 625 人（△ 30）
世帯 813 世帯（△ 13）
8月31日現在
（前年同月比）

集落巡回バス きびきび号 運行中！ 月・水・金の週3回

※運行日が祝祭日の場合は運休。



← 路線図・時刻表



お誕生おめでとう
ながまのい
永山 蒼依さん
（保護者 瑠唯・明日香／大和浜）
お悔やみ申し上げます
森サダ様（95歳・津名久）
元山 キヨ様（94歳・大金久）
池畑 良治様（85歳・今里）
賀川 輝雄様（91歳・大金久）
香典返し（社会福祉協議会へ）
田中 まるみ様（故元山キヨ様）
森種 積様（故森サダ様）
ふるさと納税
ありがとうございます

千木 良淳様（東京都）
雑賀 啓介様（東京都）
森貴志様（大阪府）
小竹 達之様（新潟県）
浅井 孝弘様（大阪府）
甲斐 英次様（福岡県）
横田 健次郎様（千葉県）
嶋村 智子様（埼玉県）
芝田 麻里様（東京都）
加藤 麻樹様（埼玉県）
掲載を希望されない
寄附者様 117名



国直集落ローカルルール



みんなで楽しく遊ぶために!!
みんなが安心して暮らすために!!

キャンプは区長に届出を!!



お問合せ ☎.0997-57-2229
(国直集落区長・村上)

毎月第3日曜日は集落美化の日です!!



毎月第3日曜日は集落美化の日です。
綺麗な集落づくりにご協力ください。

海上ではライフジャケットを着用して下さい!!



ライフジャケットを着用して安全に遊びましょう!
(サーフィン等での着用は自己判断で!)

水上バイクのマリンレジャーは禁止



航行を禁止するものではありません。海域内では遊泳者に
注意し徐行運転で航行してください。

午後10時以降は花火や音響は禁止



大声で騒ぐ行為やエンジンのアイドリング、音響機器の
使用、音の出る花火の使用はご遠慮ください。

集落内は時速20km



子供やお年寄りが安心して暮らすため、集落内の
道路は時速20km以下でゆっくり走行しましょう。

飲酒後の遊泳は禁止



飲酒後の遊泳は命に係わる重大事故につながる
恐れがあります。絶対にやめましょう。



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用
の方はここから大和村ホームページへ簡単にアク
セスできます。それ以外の方は直接 URL を入力し
てアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒 894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2117 FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>